

ボート部を去るに際して

西田亮 三

親愛なる六百の彦中健兒諸君！ 諸君はあの監督部屋の前に懸けられたる幾多の寫眞を見て、如何に感じますか？ 諸君！ 想ひ出して下さい。我が端艇部の華かなりし頃を！

我が彦中にはかくの如き華かな時代が、黄金時代があつたのだ。京大主催全國中等學校競漕大會優勝！ 或は一高主催全國大會優勝等々！ 而して、現状は！ 或は諸君は、「よくそんなことが言へるもんだ」と云はれるかも知れません。だが僕等は力の限りどこまでも戦つて来た積りです。僕等は敗れました。体格も劣つて居ました。だが意氣は決して、否斷然勝つて居たと信じて居ます。僕等も赤鬼健兒の血を受けて居ます。さればこそ、僕等は斷然戦ひました。どこまでも……。

野球部々報

我が部は昨年度、近藤、上池、木下の諸兄をお送りして、大きな痛手を受けたけれど、直ちに新チームを組織して猛練習を重ねたのである。

昨年尾花川に於ける、又リーグ戦に於ける我々の惨めな敗北、我々は泣いた。そして奮起した。グラウンドにクローバが崩え出る頃、我等はグラウンドへ出た。そして、全力を集中してボールと戦つたのである。

我々は彦中六百の健兒、並にファンの衆望を荷ひ、球界の覇者たらんとしたのである。三月中旬選手のパジションを左の如く編成した。

- マネジャー 富士原 正
- 投手 布施 一男
- 捕手 原 重信
- 一壘手 中川 五郎

今から考へれば、よくもあんなに練習が出来たものだと思います。全く血と涙の練習でした。だがそれだけ、なつかしくもあります。あゝ、もう一度ボールを握つて見たい！ 誰も忘る事の出来ないものです。

僕は敢へて諸君に苦言を呈します。諸君は大體運動部に對してあまりに冷酷ではないでせうか？ ぐあれは物好きでやつて居るんだ。諸君の頭の中には、こんな考へが有りはせぬでせうか？ 全くをこがましい事です。が、僕は我が校の運動部發展の爲め！ 敢へて申します。諸君は何故運動部に入るのが嫌ですか？ 僕も始めは實際嫌でした。だが今しみじみその考への間違つて居たことを覺つて居ます。それだからこそ、諸君に告げるのです。進んで運動部に入れよと、學校の爲め、而して自己の將來の爲めに、勉強が出来ない。それは杞憂です。スポーツをやればよい勉強は出来ます。勿論其處には努力が必要です。努力なくして何が出来ませう？ 机上の論は

- 二壘手 小川福太郎
- 三壘手 太田元夫
- 遊撃手 井敬三
- 左翼手 木野戸勝彦
- 中堅手 西川寛一
- 右翼手 高橋巖造
- 捕 堀 正道
- 捕 安 居 憲三
- 捕 上 杉 襄司
- 捕 川 村 徳次
- 捕 太 田 秀夫
- 捕 森 田 泰造

本年度より、文部省の野球統制案が出来て大會が限定され我々は大いに落膽したが、リーグ戦の日割が發表されるや、我等の練習は熱と意氣を加へた。金龜城下の古豪、彦中の名を汚すこと勿れと、筒川、植田兩先輩の猛烈なコーチを受け戦の日を待つたのである。

止さう。諸君！ 一度あの廣々とした湖上にボールを手にして漕ぎ出して見給へ。諸君！ どうですか？ ボートが好きになつたでせうさあ！ 諸君！！ 運動部へ入り給へ。而してあの琵琶湖を！ 又グラウンドを相手に、思ふ存分諸君の意氣を示し給へ。

諸君！！ 僕等は残念ながら終に成すことなく、この名残多い金龜ヶ岡より去らなければならぬ。我が校の運動部は今や諸君の雙肩にかゝつて居る。我が運動部には榮ある歴史がある。諸君にも赤鬼健兒の血は流れて居る筈だ。否、わき立つて居る筈だ。何より諸君の時代には「選手赤字」を除き給へ。赤鬼健兒の意氣！ 赤鬼健兒の意氣の前に何もかもあらん！

さらば健兒よ！ 大いに我がボート部の爲めに活躍せられんことを！ 暴言多謝

縣下リーグ戦出場の記事

第一回戦 本校對虎姫中學
四月十七日、虎姫中學校庭に於て本校先攻にて開戦

第一回(本校) 西川、原、松居三者四球に出で續く四番打者布施絶好のバンドに西川生還中川中央に生き原生還。堤三振、高橋の左前安打にて松居生還せしが、木野戸の三脛にやむ。堂々三點を得、意氣大いに揚る。

(虎中) 森四球、榊原三振せしも川崎左前安打に出で長谷川、野村四球に出で森生還。松波三振、續く川原林、北川二者四球にて川崎長谷川生還、大村三振。(兩軍三)

第二回(本校) 小川三振西川、原四球、松居遊失に生き、布施四球にて西川生還、中川左中間二壘打に原、松居生還。堤、高橋二者三振に空し。

(虎中) 森四球に出でしも榊原三振川崎二壘長谷川遊匍に凡退す。(本校三虎中〇)

第三回(本校)木野戸三匍、小川四球に出でしも西川の二匍に封殺さる。原、松居四球、布施三振

(虎中)野村、松波四球に出でしも、河原林北川、大村三者三振(兩軍〇)

第四回(本校)堤三振、高橋四球木野戸、小川三振にて凡退す

(虎中)森四球、榊原右前安打川崎、長谷川四球にて森生還野村三匍に榊原本壘寸前に於て殺さる。松波三振、河原林四球にて川崎生還せしも大村の三振にやむ。(本校〇虎中二)

第五回(本校)西川、原四球に出で松居、布施共に中飛中川遊匍

(虎中)大村四球に出で森の投匍にて封殺さる。榊原、川崎四球長谷川二失に生き森生還野村の遊匍に重殺(本校〇、虎中一)

第六回(本校)堤、高橋二者四球木野戸三振小川投飛西川四球、原三振に惜しくも満塁の好機を逸す。

(虎中)松波四球河原林三振せし時、松波二

生還の後大橋、堀ダブルプレーを喫す。

(本校)西川四球に出でしも原の三飛にて重殺され、松居凡打に止む(本校〇、彦商三)

第二回(彦商)藤本、中島四球吉田中飛の時藤本三盗を企て、刺さる。前川三振

(本校)中川中飛の後布施善く選球して四球に出で、續く堤二失に生きしも木野戸三振、中辻三飛に止む(兩軍〇)

第三回(彦商)日比、近藤四球に出で、堀三振中川四球大橋の二匍に日比生還藤本、中島の四球に近藤生還。續く吉田二匍に止みしが彦商更に二點を加ふ。

(本校)小川投飛の後西川四球に出で、二盗を企て、成功し原の安打に更に前進せしが、原の二盗ならず松井の二失に西川生還中川中飛(本校一、彦商二)

第四回(彦商)前川四球、日比三失に生き近藤四球の満塁の好機を迎へしが、投手好投を續けて堀、中川、大橋を三振に葬る

(本校)布施、堤續きて安打に出でしが、木

盗を企て効を奏せず、北川四球大村遊匍(兩軍〇)

第七回(本校)松居三振、布施遊匍一失中川二匍遊失に出でしも堤高橋二者三振。

(虎中)森四球、榊原三振川崎四球長谷川三振續く野村中飛(兩軍〇)

第八回(本校)木野戸三振、小川四球西川二失に出で原二飛、松居右前安打を放ち小川生還、布施四球中川二飛一點を加へ同點となる

(虎中)松波三振、河原林、北川四球に出で大村の遊匍に河原林三壘に殺さる森投匍(本校一、虎中〇)

第九回(本校)堤四球、高橋投失木野戸死球小川三振せしも西川の一匍に堤生還し貴重なる一點を擧ぐ原投匍

(虎中)榊原一匍、川崎三匍一失に生きしも長谷川の遊匍に重殺(本校一、虎中〇)

本校八對七にてまづ凱歌を奏す。時すでに五時十五分なり。

試合時間三時間十五分

野戸の投匍に布施封殺され、中辻中飛して重殺を喫す(兩軍〇)

第五回(彦商)藤本遊匍、中島三振吉田遊匍(本校)小川遊飛、西川三飛の後原左中間に二壘打し三失に生還、松井中飛に止む。併し本校再び一點を加へて意氣大いに揚る(本校一、彦商〇)

第六回(彦商)前川左翼前に安打し、續く日比四球近藤の三匍に前川封殺、堀の二匍に近藤封殺の後投手暴投に日比生還中川三匍。

(本校)中川二匍、布施遊飛堤投匍(本校〇彦商一)

第七回(彦商)大橋四球、藤本三振の後中島左翼前に安打して大橋生還。吉田、前川三振に止む。

(本校)木野戸遊匍、中辻三振小川三匍(本校〇、彦商一)

第八回(彦商)日比左飛、近藤中飛堀一壘手の失過に生きしが二盗して刺さる。

(本校)西川遊匍、原三匍の後松井右翼前に

盗を企て効を奏せず、北川四球大村遊匍(兩軍〇)

第七回(本校)松居三振、布施遊匍一失中川二匍遊失に出でしも堤高橋二者三振。

(虎中)森四球、榊原三振川崎四球長谷川三振續く野村中飛(兩軍〇)

第八回(本校)木野戸三振、小川四球西川二失に出で原二飛、松居右前安打を放ち小川生還、布施四球中川二飛一點を加へ同點となる

(虎中)松波三振、河原林、北川四球に出で大村の遊匍に河原林三壘に殺さる森投匍(本校一、虎中〇)

第九回(本校)堤四球、高橋投失木野戸死球小川三振せしも西川の一匍に堤生還し貴重なる一點を擧ぐ原投匍

(虎中)榊原一匍、川崎三匍一失に生きしも長谷川の遊匍に重殺(本校一、虎中〇)

本校八對七にてまづ凱歌を奏す。時すでに五時十五分なり。

試合時間三時間十五分

野戸の投匍に布施封殺され、中辻中飛して重殺を喫す(兩軍〇)

第五回(彦商)藤本遊匍、中島三振吉田遊匍(本校)小川遊飛、西川三飛の後原左中間に二壘打し三失に生還、松井中飛に止む。併し本校再び一點を加へて意氣大いに揚る(本校一、彦商〇)

第六回(彦商)前川左翼前に安打し、續く日比四球近藤の三匍に前川封殺、堀の二匍に近藤封殺の後投手暴投に日比生還中川三匍。

(本校)中川二匍、布施遊飛堤投匍(本校〇彦商一)

第七回(彦商)大橋四球、藤本三振の後中島左翼前に安打して大橋生還。吉田、前川三振に止む。

(本校)木野戸遊匍、中辻三振小川三匍(本校〇、彦商一)

第八回(彦商)日比左飛、近藤中飛堀一壘手の失過に生きしが二盗して刺さる。

| | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 本校 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 8 |
| 虎中 | 3 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |

◎縣下リーグ第二回戦
四月二十七日本校對彦商と本校校庭に於てリーグ第二回戦を行ふ。
其の日天氣晴れ渡り觀集校庭につめかける彦商先攻にて開戦

第一回(彦商)前川四球に出で、日比左翼前に安打し近藤、堀四球に出で、前川生還續く中川三振、大橋二壘前に柔打して日比、近藤

好打、續く中川左中間に快打し松井生還せしが布施の一匍に無慘好機を逸し一點を加へるのみにて止む(本校一、彦商〇)

第九回(彦商)中川三振、大橋二匍藤本三振にて三者凡退。

(本校)堤右飛の後木野戸三失に生き續く中辻遊飛、小川三匍にて萬事休す。

今此の一戦を回顧するに、勿論筆頭に投手の四球連續が其の一大敗因をなす事は云ふ迄もない。が然し、一番打者より打撃の點を見るに、七番打者より即ち木野戸、中辻、小川の安打を出さなかつた事は残念である。練習は其のまま戰の上に明らかに表はれる物である。即ち投手の四球連續も其の一つ、木野戸、中辻、小川の不成績も其の一つと見なくてはならない。此の一戦を將來の紀念として後輩諸子の深く胸に止める事として、練習に一層勵まれる事を切望する所である。

因にメンバーは左の如し。

校 川 井川施 戸 辻川
西原松 中 布堤 木野 中小
本 8 2 6 3 1 5 7 9 4
33 3 6 0 5 2 3 6 2
17 打 數 安 打 儀 三 振 四 球 殘 策
7 得 點 安 打 儀 三 振 四 球 殘 策
商 川 比 藤 川 橋 本 島 田
彦 前 日 近 堀 中 大 藤 中 吉
2 1 6 5 8 7 3 4 9

「長商」中川(稔)二失に出で林田も左失に出でたが次打者熊合の三壘右を抜く三壘打に中川生還、林田も本壘を突き寸前に刺さる。西島の遊翁は遊撃手本投すれど間に合はず、熊合生還、西島二盗。中川(正)の右中間二壘打に西島生還せしも、田中三振、杉江二壘に「本九、長三」

第三回戦 本校對長濱商業
四月二十九日、好野球日和なり。午後二時五十分より本校球場に於て、球審藤井、壘審今枝二氏のもとに開始。ベンチコーチ筒川氏第一回「本校」西川遊撃手を抜く安打に出で直に二盗、原四球松井の右中間二壘打に西川生還。中川の三遊間安打に原生還、布施三振せしも堤、木之戸の連続安打に松井、中川生還。中辻、小川共に遊失に出で堤生還。打者一週し、西川また遊撃安打に二者生還。原三振松井四球に出で、中川の左前安打に小川、西川生還。布施投翁に終りしも本校九點を先

取す。
第三回「本校」布施中飛、堤三飛、木之戸の三壘に空し。
「長商」杉江三振、川村、松田四球に出で投手暴投に二三進し中川(稔)の二壘に二壘手本投すれど間に合はず、川村生還林田四球に満壘となり次打者熊谷、西島の四球に松田、中川(稔)生還せしが續く中川(正)田中共に三振「本〇、長三」
第四回「本校」中辻三振、小川三壘一失に出で、西川、原の四球に一死満壘となる。松井の右翼大飛球儀打となりて小川生還、中川遊撃内野安打に亦も満壘、布施一〇の後左中間三壘打を放ち、走者一掃せしが堤の捕邪飛に止む。
「長商」杉江四球に出で二盗、川村の三壘に三進松田三振、中川(稔)四球に出で二進せんとして刺さる「本三、長〇」
第五回「本校」木之戸二壘、中辻左翼右を抜く二壘打に出でしも、小川三壘、西川二飛「長商」林田二壘、熊谷投翁、西島四球に出

で二盗し、中川(正)の右翼安打に生還。中川(正)二盗せんとして刺さる一本〇、長一」
第六回「本校」原四球、投手暴投に二進し松井の三壘に三進せしが中川三飛、布施右飛
「長商」田中二飛杉江三振、川村三壘「本〇長〇」

第七回「本校」堤三壘、木之戸投翁中辻左飛「長商」松田中飛、中川(稔)四球、林田の三遊間安打に二進、熊谷四球に出で満壘となりしも中川(正)の三振に空し「本〇、長〇」
第八回「本校」小川遊撃内野安打に出で、西川の左前安打に二進、原の一壘内野安打に無死満壘の好機来る。松井〇——二の時、右中間大三壘打を放ち走者一掃す。中川遊飛、布施投翁し、投手一壘に投ずる間に松井生還、堤右中間安打を放ち、直に二盗、木之戸四球に出でしも中辻左飛

盗し、原の三壘右を抜く二壘打に生還。原暴投に三進し、松井の二遊間安打に生還。松井二盗、中川左飛、布施の二遊間抜き安打に松井長驅生還、堤左失に出で、木之戸の左前安打に布施三進せしが中辻遊飛
「長商」中川(稔)左前安打に出でしも、林田の中飛に出すぎで一壘に重殺、熊谷二失に出でしも西島の投飛に無爲「本三、長〇」
閉戦五時二十分、試合時間二時間三十分

五月廿二日、我部は好敵八商を招き午後二時より本校球場に於て球審西野、壘審原二氏のもとに練習試合を行へり。
本校先攻、ベンチコーチ淺野氏
一回(本校)西川四球に出で、堤の三壘に封殺、堤暴投に二進せしも後援つゝかず
(八商)寺本遊翁、中川捕前ゴロに生きしも
寺田三飛、宮崎三壘(兩軍〇)
二回 兩軍無爲
三回(本校)西川二遊間安打に出でしも、堤の中前安打に二壘に封殺、松井四球、中川中飛、布施の四球に一死満壘の好機至る。原遊越安打を放ち堤、松井生還、左失に更に二壘に進む。木之戸投翁一暴投に原生還せしも高橋の三振に止む。四點をリードす。

「長商」田中三飛、杉江投翁、川村四球に出でしも松田三振「本四、長〇」
第九回「本校」小川遊翁、西川四球に出で二

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|----|---|
| 長 | 本 | 彦 | 中 | 川 | 打 | 數 | 34 | 6 |
| 商 | 校 | 原 | 川 | 井 | 安 | 打 | 3 | 8 |
| 3 | 9 | 2 | 西 | 川 | 三 | 振 | 14 | 6 |
| 4 | 4 | 6 | 原 | 井 | 振 | 死 | 11 | 1 |
| 3 | 0 | 1 | 松 | 川 | 四 | 策 | 2 | 1 |
| 0 | 3 | 3 | 中 | 施 | 壘 | 打 | 3 | 1 |
| 1 | 0 | 5 | 布 | 戶 | 二 | 打 | 1 | 0 |
| 0 | 0 | 7 | 堤 | 之 | 三 | 打 | 1 | 0 |
| 0 | 0 | 9 | 木 | 辻 | 打 | 儀 | 1 | 0 |
| 0 | 4 | 4 | 中 | 川 | 打 | 數 | 34 | 6 |
| 0 | 3 | 1 | 小 | 井 | 安 | 打 | 3 | 8 |
| 0 | 0 | 3 | 小 | 川 | 三 | 振 | 14 | 6 |
| 0 | 0 | 5 | 小 | 川 | 振 | 死 | 11 | 1 |
| 0 | 0 | 7 | 小 | 川 | 四 | 策 | 2 | 1 |
| 0 | 0 | 9 | 小 | 川 | 壘 | 打 | 3 | 1 |
| 0 | 4 | 4 | 小 | 川 | 二 | 打 | 1 | 0 |
| 0 | 3 | 1 | 小 | 川 | 儀 | 打 | 3 | 1 |
| 0 | 0 | 5 | 小 | 川 | 三 | 振 | 14 | 6 |
| 0 | 0 | 7 | 小 | 川 | 振 | 死 | 11 | 1 |
| 0 | 0 | 9 | 小 | 川 | 四 | 策 | 2 | 1 |
| 0 | 0 | 4 | 小 | 川 | 壘 | 打 | 3 | 1 |
| 0 | 4 | 4 | 小 | 川 | 二 | 打 | 1 | 0 |
| 0 | 3 | 1 | 小 | 川 | 儀 | 打 | 3 | 1 |

四回(本校)無爲

(八商)宮崎、松澤、米澤、石井、林四球に出で、また畑の中前安打等で五點を得、二點リードす(本〇、八五)

五回(本校)布施四球に出でしのみ。

(八商)米澤中前安打ありしのみ。

六回(本校)木之戸、高橋四球に出で中辻の代打安居一併せしも、西川右中間二壘打を放ち、木之戸、高橋生還、西川三盗せしも後者凡退

(八商)三者凡退(本二、八〇)

七回(本校)布施、木之戸の四球ありしのみ

(八商)三者凡退(兩軍〇)

八回 兩軍三者凡打に退く

九回(本校)中川四球、布施二飛、原四球に出で走者一二壘の時木之戸二併失に中川生還原三壘に進まんとして刺されしも本校二點をリードす、高橋投術

(八商)寺本、中川四球に出で、寺田一併せしも宮崎四球に出で一死満塁となる。松澤捕

で二盗せんとして刺さる。(兩軍〇)

四回(本校)松井遊撃強襲安打に出で、二盗布施四球、中川左飛、堤打者の時捕手一壘牽制悪投に走者進塁、堤四球に一死満塁の好機到る。高橋四球に松井生還、木之戸の中前安打に布施、堤生還せしも中辻三併、西川二飛に止む。

(八中)三者凡退(本三、八〇)

五回(本校)太田、松井四球に出で、布施の二壘強襲安打に太田生還、中川四球に一死満塁となる。堤三振せしも高橋四球に松井生還木之戸三振、中辻三飛

(八中)佐藤の四球ありしのみ(本二、八〇)六回(本校)西川四球に出で二盗、太田の代打小川二併内野安打に出で、松井の遊失に西川生還、松井二壘にすゝみ、布施の中前安打に二者生還。布施も中堅手の本投する間に二壘に進む。中川左前安打に出で二盗、堤二併高橋四球に満塁となる。木之戸三振ナットアウトに捕手一壘に高投し布施、中川生還。中

邪飛に二死となつた時、米澤左翼を抜く本壘

打を放ち、走者一掃し三點をリードす。遂に九A——七を以て敗らる。閉戦四時三十五分

商 本川 田崎 澤 澤 井

寺 中 寺 宮 松 米 石 林 畑

八 6 7 9 5 8 1 3 4 2

24 9 4 4 15 4 7 1 1

得 打 振 三 死 壘 殘 壘 二 打

29 7 4 7 11 7 1 0

中 川 井 川 施 戸 橋 辻 居

彦 8 5 6 3 1 2 7 9 4 4

西 堤 松 中 布 原 木 高 中 安

本 校 〇 〇 4 〇 〇 2 〇 〇 1 〇 〇 7

八 商 〇 〇 〇 〇 5 〇 〇 〇 〇 〇 4 〇 〇 9 A

二 壘 打 西 川、中 川

本 壘 打 米 澤

本 校 〇 〇 〇 〇 4 〇 〇 〇 〇 〇 1 〇 〇 7

八 商 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 4 〇 〇 9 A

◎(練習試合)本校對八日市中學

六月十二日、我部は新進八中野球部を招き

本校球場に於て練習試合を行った。

午後二時二十五分より、球審藤井、壘審吉

辻、西川四球に出で、またもや満塁となりし

も小川中飛

(八中)辰巳投術、三輪中飛、福原遊術(本五、八〇)

七回(本校)松井右中間二壘打に出で、投手

暴投に三進す。布施四球に出で、直ちに二盗

中川、堤、高橋も四球に出で二者生還。木野

戸の二遊間安打に中川生還せしも堤スタート

遅く、三壘前に刺さる。中辻四球に出で西

川左飛に高橋出すぎて刺さる。

(八中)福永の四球ありしのみにて、他は三

者三振に退く。十八對一にて勝つ。

中 川 田 川 井 施 川 橋 戸 辻

彦 8 4 4 2 1 3 6 9 7 7 5

西 太 小 松 布 中 堤 高 木 中

數 打 振 三 死 壘 殘 壘 二 打

8 4 4 2 1 3 6 9 7 7 5

打 安 四 振 三 死 壘 殘 壘 二 打

0 7 8 2 2 0 0 0 0

中 田 野 已 輪 永 井 勝 極 藤

八 6 4 5 1 2 9 7 3 8

太 小 辰 三 福 松 川 京 佐

八 6 4 5 1 2 9 7 3 8

田二氏のもとに本校先攻にて閉戦。ベンチコ

ーチ淺野氏

一回(本校)西川三振、太田四球、松井の右

翼安打野手失して走者二三壘による。布施猛

烈な三遊間安打を放ち、太田生還。布施二盗

中川三振せしも、堤、高橋、木之戸四球に出

で、松井、布施生還。中辻の三併に高橋三壘

に封殺されしも、本校最初より三點を得。

(八中)無爲(本三、八〇)

二回(本校)西川四球に出で、二盗せんとせ

し時、捕手二壘に大高投し西川長驅生還。太

田三振、松井の遊術遊撃手一壘に悪投し、一

舉二壘による。布施打者の時松井三盗を果す

布施中飛、中川四球に出で、投手ポークあり

て、松井生還。堤左飛

(八中)福長三併一壘悪投に生き、松井三振

の時二盗す。川勝投術に福永三振、京極の二

併失に生還せしも、佐藤三振(本二、八一)

三回(本校)中辻三失に出でしのみ

(八中)太田、小野共に三振、辰巳四球に出

二 壘 打 松 井

本 校 3 2 〇 3 2 5 3 〃 18

八 中 〇 1 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〃 1

第二次縣下リーグ戦出場の記

我等は東部リーグに於て、不覺にも彦根商

業に一敗し、二勝一敗の成績となり、虎中、

彦商と同率になりたるを以て、三校の間に二

次のリーグ戦が開かれることとなつた。我等

は必勝の意氣を以て此に望まんとす。第一回

戦は彦商と戦ふことになつた。

第一回戦 本校對彦根商業

六月十九日、午前九時より彦商球場に於て

球審藤井、壘審今枝、森松三氏のもとに閉戦

ベンチコーチ、淺野氏

第一回(本校)西川投術、堤三振、松井四球

に出でしも布施三飛

(彦商)近藤三振、吉田左飛、前川三振「兩

軍〇」

第二回(本校)中川遊飛、原三振、小川四球

に出でしも布施三飛

(彦商)近藤三振、吉田左飛、前川三振「兩

軍〇」

第二回(本校)中川遊飛、原三振、小川四球

に出でも木之戸の投匱に無爲

(彦商)堀右飛、日比三振、大橋四球に出で二盗、藤本の三失に三進せしも中島一飛(兩軍)

第三回(本校)西川左飛、堤中飛、松井四球に出で、布施の右翼直球は右翼手の美技に止み、投手戦を続け試合は緊張裡にすむ。

(彦商)中川遊匱、近藤中堅越二壘打を放ち更に三盗す。吉田三振せしも、前川打者の時投手暴投に近藤生還、最初の一點を擧ぐ。堀投匱(本校○、彦商一)

第四回(本校)中川中堅越二壘打に出で、原も又左中間二壘打を放ち、中川生還。小川遊匱一壘暴投に原生還、木之戸の三匱三壘手亦もや一壘に暴投し小川生還、高橋打者の時木之戸投手のモーシヨンを盗み三盗す。高橋四球に出で、二盗せんとして刺され、西川三振堤二匱に空し。されど三點を得點し逆にリフする。

(彦商)日比遊匱、大橋一匱失に出でも藤本左飛中島一飛(本校三、彦商○)

第五回(本校)松井二遊間安打に出で直ちに二盗せしも、布施の投直球に出すぎで二壘に重殺、中川三振

(彦商)中川三振、近藤遊二間安打に出で二盗に刺され、吉田二失に出でも前川捕飛(兩軍○)

第六回(本校)原、小川共に右飛木之戸中飛(彦商)堀一匱、日比投匱、大橋中飛(兩軍○)

第七回(本校)高橋、西川共に三振、堤死球に出でも松井三振(彦商)藤本三振、中島二飛、中川中堅前安打に出でも近藤右飛(兩軍○)

第八回(本校)布施二匱内野安打に出で、中川の一匱に二進、原の三匱に三進し好機到る小川四球に出でも、二盗せんとして挾殺され無爲。

(彦商)吉田四球に出で前川の二匱に二進、堀の一、二間安打に本壘を突かんとして右翼手の好送球に刺され、堀も三盗せんとして壘前に死す。(兩軍○)

第九回(本校)木之戸四球に出で二盗、高橋左飛、西川四球、堤の投匱に木之戸三壘に封殺、松井四球に二死満壘となりしも布施遊飛(彦商)日比遊匱、大橋、藤本四球に出で、中島の遊匱に藤本二壘に封殺。中川の三振に止む。(兩軍○)

閉戦十時五十分、試合時間一時間五十分。兩軍投手布施、日比の好投に依り、試合は投手戦となり白熱的ゲームであつた。我軍の守備、鉄壁の如く遂に三對一にて勝つ。

| 本 | | 校 | | 彦 | | 商 | | 校 | | 本 | |
|---|---|---|----|-----|-----|---|---|-----|---|---|---|
| 8 | 西 | 川 | 33 | 6 | 近 | 藤 | 田 | 川 | 比 | 橋 | 本 |
| 5 | 堤 | 井 | 4 | 9 | 吉 | 本 | 川 | 堀 | 橋 | 中 | |
| 6 | 松 | 施 | 0 | 2 | 前 | 川 | 比 | 日 | 大 | 藤 | |
| 1 | 布 | 川 | 7 | 5 | 堀 | 比 | 橋 | 5 | 7 | 中 | |
| 3 | 中 | 川 | 10 | (1) | (1) | 5 | 日 | (1) | 7 | 中 | |
| 2 | 原 | 川 | 5 | 7 | 大 | 藤 | 中 | 5 | 7 | 中 | |
| 4 | 小 | 川 | 3 | 2 | 中 | 橋 | 中 | 3 | 4 | 中 | |
| 7 | 木 | 戸 | 2 | 4 | 大 | 中 | 中 | 2 | 1 | 8 | |
| 9 | 之 | 橋 | 11 | 8 | 藤 | 比 | 橋 | 11 | 8 | 8 | |

二壘打 原、中川、近藤
本校(先)○○○○○○○○○
彦商 ○○○○○○○○○○○

◎第二回戦 本校対虎姫中學(決勝戦)

六月廿六日、午後一時二十分より本校球場に於て、球審藤井、壘審福長、石毛三氏のもとに、本校先攻にて開始。ベンチコーチ淺野氏

一回(本校)西川投手右の内野安打、原の第一球の時直ちに二盗す。原三振せしも松井の右翼安打に西川三進、松井二盗布施四球に満壘となりしも中川三振、堤投飛

(虎中)森第二球目を左翼越三壘打を放つ。(虎中)森第二球目を左翼越三壘打を放つ。森原三振せしも、野村も右翼二壘打を放ち森生還、川崎四球に出で、野村とダブルスチールをなし、二三進す。長谷川二—二の後、左翼の右を抜く本壘打を放ち走者を一掃す。

大村三振、河原林二匱に退きしも一擧四點をあげ、リードす(本○、虎四)

二回(本校)小川三遊間安打、木之戸四球に出でも木之戸の投匱に無爲

好機來るかと思へたが、高橋三振、西川投匱原三振

(虎中)北川三振、松波遊匱、森三振(本○、虎○)

三回(本校)松井二遊間安打に出で直ちに二盗、布施の遊匱に三進、中川の遊撃内野安打に松井生還、最初の一點を擧ぐ。堤二失に出でも、小川の遊匱に封殺、木之戸三飛

(虎中)榑原三匱一失に生き、野村の三匱に二進、川崎三振せしも長谷川投匱失に生き、二盗せんとして刺さる(本一、虎○)

四回(本校)高橋三振、西川投匱、原三振(虎中)大村、川原林共に三振、北川遊匱一失に生き二盗せんとして刺さる(本○、虎○)

五回(本校)松井第一球を中堅オーバアの三壘打を放つ。布施投匱、松井、中川のスキズプレイ成らず、松井三本間に刺さる。堤三振に無爲。

(虎中)松波四球、森三飛、榑原四球に出で走者一二壘による。野村の三匱松波を三壘に

封殺、尙三壘手一壘に投じ刺し、美技を演ず(本○、虎○)

六回(本校)小川投匱、木之戸、高橋共に三振(虎中)川崎左飛、長谷川三振、大村遊匱、兩軍投手好投をつゞけ投手戦を演ず(本○、虎○)

七回(本校)西川三振、原遊匱、松井右飛に空し。(虎中)河原林左飛、北川投匱一失に生く、松波三振、森捕手ボークに出でも榑原三振(本○、虎○)

八回(本校)布施三遊間安打、中川左飛、堤二壘内野安打に出で、原左飛、木之戸四球に満壘となりしもピチンヒッター中辻の一飛に空し。

(虎中)野村一二間安打、右失に二壘に進む川崎中飛、長谷川四球に出で野村とのダブルスチール成功せしが、大村三振、河原林中飛(本○、虎○)

九回(本校)最後の攻撃に移り、西川三匱一

失に出で二盗せんとした時、捕手二壘に高投し更に中堅手後逸して西川一塁生還、原三壘松井投匄、布施四球に出でしも中川二飛に萬事休す。閉戦三時十五分

試合時間 一時間五十五分

あゝ遂に敗れた。練習に練習を重ねて戦つたのであるけれども、好運に見放されてしまった。湖北の覇権は虎姫中學の得るところとなつた。我々は次の大會に於て必ず復讐せんことを誓ふ。校友諸君の御寛如を乞ふ。

校川 井施川 川橋辻

本 西原松布中堤小高中

8 2 6 1 3 5 4 9 9

打数37 8 10 4 5 12 0 1 0

安打三振四球壘打二打本

4 11 4 2 6 1 1 1

姫 原村崎川村林川

森 野川長大河北

6 8 3 1 5 4 2 9

二壘打 野村

三壘打 松井、森

本壘打 長谷川

本校先) 0 0 1 0 0 0 0 0 1 1 2

虎中 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 4

大朝主催全國中等學校野球大會 會京津大會、第一次豫選滋賀縣大會出場優勝(記)

あゝ、待ちに待つた戦の日は來た。昨年九月より過去一年間の血と、涙と、汗のグラウンド生活の決算の日がやつて來たのだ。

七月十一日、學期試験終了直後より我が部は寄宿舎に合宿し、炎熱萬物を焼き盡す真夏の太陽のもとで、最後の猛練習を開始したのである。十三日より慶應大學選手長谷川氏を聘し、また先輩淺野、筒川、西堀、植田諸氏の御熱心なコーチを受け、野球部の歴史を汚すまいと必死の練習を行つた。我等の技倆、我等の意氣、我等の自信は日一日と高められた。

遂に七月廿六日、大會旗幟る尾花川球場に

於て最初に湖北の雄、長濱商業と戦ふことになつたのである。

第一回戦 不戦一勝

◎第二回戦 本校對長濱商業

球審、早川 壘審、園司、松井三氏のもとに長商先攻で開始せられた。

第一回(長商) 林田、熊谷四球に出たが後三三振。

(本校) 松井三振後西川左中間安打を放ち二盗成る。原も中前テキサスに出たが中川遊匄布施三振。(本校〇、長商〇)

第二回(長商) 田中、松田四球に出で川村の捕前バンドで送られ杉江四球で一死満塁となり、中川(稔)三振したが林田、熊谷、西島何れも四球で三點を先取るも後援なし。

(本校) 二死後小川四球で出たのみ(本校〇長商三)

第三回(長商) 無爲

(本校) 松井三壘、西川三壘線上軟ゴロに生き原は遊撃、中川は右中間を何れも抜き西川

三壘打 松井

長商 0 3 0 0 0 0 0 0 0 1 3

本校 0 3 0 1 0 0 3 A 1 7 A

◎第三回戦 本校對彦根商業

吾等は、第二回戦に於て難なく長濱商業を一蹴し、準優勝戦となつた。そうして彦根商業と顔を合はした。此の日も前日と同様快晴である。試合は十時より開始された本校先攻

第一回(本校) 松井四球、西川投匄、松井二盗成功西川の投匄に三進、原中前安打に松井生還先づ一點をあぐ、布施右翼ラインより直接校舍に達する二壘打をはなち中川(この時投手日比、堀と交替)の三壘に原生還、堤二飛。

(彦商) 近藤中前安打し直に二盗ならず一アット、前川、中川、堀續いて四球に出たが前川三P T、日比三飛。(本校二、彦商〇)

第二回(本校) 木之戸三壘、高橋三振、太田右飛。

(彦商) 藤本、中島共に四球、吉田捕邪飛、

生還、布施一飛、堤遊匄高投で原、中川何れも還り堤二壘を覗つて刺されたが三點をあげ同點となる。(本校三、長商〇)

第四回(長商) 杉江四球で出で二盗成り中川(稔)の死後林田の三壘で三進したが熊谷三振(本校) 木之戸、高橋、無爲小川四球に出でしも松井無爲。(本校〇、長商〇)

第五回(長商) 三者凡退。
(本校) 西川四球二盗成り、原も四球中川遊匄に生き満塁となつたが、西川三壘に刺され布施二壘野手後逸し原生還、堤三振後木之戸四球を得、高橋中飛。(本校一、長商〇)

第六回(長商) 川村四球二盗したのみ。
(本校) 二死後西川四球、原三壘高投に生き中川四球で満塁となつたが布施凡退(本校〇長商〇)

第七回(長商) 三者凡退。
(本校) 三者凡退。(本校〇、長商〇)

第八回(長商) 二死後松田死球を喫したが、川村一匄。

(本校) 小川中前安打、松井三壘線上に三壘打を放ち、小川生還、西川も三壘に生き原、中川何れも四球、松井生還、布施三振後堤の遊匄野選となり西川生還、木之戸、高橋ともに三飛。(本校三、長商〇)

第九回(長商) 杉江四球、中川(稔)遊飛、杉江二壘を覗つて刺され、林田投匄に萬事休す。

終了時は午後零時五十分。かくして長商後半ものにならず終に第一回戦は安々と吾が勝利に歸した。

(長商) 27打数36
(6) 中川 安打 7
(5) 林田 犠打 0
(4) 熊谷 三振 6
(1) 西川 死 9
(8) 中川 盗 6
(2) 田中 失策 0
(9) 川村 三打 1
(3) 杉江 PH 竹

(本校) 井川 川施 戸橋川
(8) 西原 中布堤 木高小
(3) 原中 堤木 高小
(1) 布堤 木高小
(5) 堤木 高小
(7) 木高小
(9) 木高小
(4) 木高小

壘打したが、堤の二壘に止み、又々二點を得
(大商) 森本四球、大塚三遊間を抜き、相次いで二者盗塁好機を得たが、瀧川三振、森島遊飛で森本を重殺す。

第八回(本校) 木之戸四球、小川の犠打で送られ、太田中飛、松井中前安打を放つたが西川左飛。

(大商) 藤田投手を強襲したが、投手よく取つてアウト。谷口遊飛後安澤左前勝見右前へいづれも安打を放つたが鹿野二壘。

第九回(本校) 原四球、布施投飛、中川二壘で原封殺され堤遊飛。

(大商) 森本遊越し安打、大塚三壘軟打野手逸し、瀧川二壘越安打で無死満塁のとき森島四球で森本還り最初の一點を擧ぐ。藤田打者のとき投手中川となり、布施一壘へ退く。藤田左翼へ猛ゴロを放ち、大塚を還し谷口遊飛不規則バンドで瀧川、森島も還り、安澤の三壘で藤田封殺されたが、三壘手二壘へ暴投して走者二、三壘に據る。勝見の遊飛は安澤を

二壘に重殺。終に四點をゆるしたのみで吾等の勝となる。閉戦五時

本校 2 0 0 0 0 6 2 0 0 11 10
大商 0 0 0 0 0 0 0 0 0 4 11 4

井川 施川 戸橋 川田
松西 原布 中堤 木高 小太
(6) (8) (2) (1) (3) (1) (5) (7) (9) (4) (4) (9)

本 41 8 2 6 8 3 2 1
打數 8 2 6 8 3 2 1
安打 8 2 6 8 3 2 1
犠打 10 11 7 7 0 0

商 塚川 島田 澤見 野本
大 瀧 森 藤谷 安勝 鹿 森
(6) (7) (5) (1) (8) (9) (4) (2) (3)

三壘打 松井
二壘打 中川、原
我々は優勝した、勝つたんだ。

幾度かねらつて幾度かはずれ、今、遂に勝利の榮冠は我等が頭に輝いた。優勝の利それは唯涙だけだった。學校の名譽の爲に、部の歴史の爲に、傳統の爲に我等がその責を

果たした時、それは唯喜の涙だけだった。

此の境、此の境地こそスポーツマンならでは絶体に味ふことの出来ないものだ。

戦の後を回顧するに、先づ布施君の好投をあげたい。幾分四球も多かつたが然し敵打者を近づけしめなかつた。本大會を通じ興へし安打僅に十二、三振三十を取り名實共に大會隨一だつた。堤君の好守備、松井君の痛烈な三壘打、原のフラインプレイ等皆優勝を飾るにふさはしいものだつた。

尾花川原頭の彼方に沈みゆく太陽をみて如何に喜びに耽つたことだつたか？

其の夜、此の月桂冠を抱いて、多數のファンに迎へられて懐しい金龜城下に歸つたのである。

京津大會第二次豫選出場の記

第一次豫選に優勝し、縣下の代表チームとして大津商業と共に、第二次豫選に出場することとなつた。

京津の雄、平安何者ぞ、京師何者ぞ。我等は、絶体的な自信を以て、金龜城下を後に、先輩が幾多恨を呑まれた京都の地を踏んだのである。第一回戦は古き歴史を有する京一中と對戦することとなつた。

試合は炎熱焼くが如き京都市立球場で、午後零時十四分、鹽釜(球)小竹、平井三氏審判の下に本校先攻で開始された。

第一回(本校) 松井右飛、西川捕邪飛、原遊飛を一壘低投に生きたが布施三振。

(一中) 吉田(一) 二壘手の失策に出で元川バンドーと吉田(一)を二壘へ送つたが岩内三振、棚橋遊飛。(本校〇、一中〇)
第二回(本校) 中川遊飛、堤二飛、木野戸四球で出たが高橋左直にやむ。

(一中) 安田遊飛、池垣中飛を中堅手落球して生かし、吉田(八) 右翼に安打して續き、池垣三進、宮川打者の時吉田(八) 二盗成り宮川のスクイズ成功し池垣生還、吉田(八) 本壘を衝き、一壘手暴投に還り、岡本四球に

送られたが吉田(一)捕邪飛(本校〇、一中二) 第三回(本校) 太田三振、松井四球、直に二盗成功、西川三振、原投直。

(一中) 元川四球、岩内右前に安打、棚橋三振、安田遊飛して岩内を二壘で封殺し池垣打者の時、安田二盗を企て捕手の送球に遊撃手壘に入つて居る内に、元川三壘を離れて三本間に挟まれ本壘でアウト。(本校〇、一中〇)
第四回(本校) 布施一壘内野安打に出で中川四球、堤の遊飛を野手又フアンブルして満塁となり、チャンス到来す。木野戸右前に安打して布施、中川還り、右翼手一壘暴投して堤一壘生還、なほ無死走者一、二壘高橋三邪飛太田遊飛で二死の時、木野戸チェンジと思ひ還(り)かけてタツチされてアウト。

(一中) 池垣四球、パスボールに二進、吉田(八)のバンドは内野ヒットとなり、宮川スクイズを失敗して池垣本壘に刺され、その隙に吉田(八)二盗、宮川の一壘ゴロで吉田(八)生還、岡本遊飛。(本校三、一中一)

第五回(本校) 松井遊飛、西川二壘、原、布施ともに四球に送られたが中川左飛。

(一中) 吉田(一) 右前安打、元川四球を選んで續き岩内遊飛に元川封殺、岩内二盗成り走者二三壘、棚橋三振、安田の遊飛を遊撃手フアンブルして一壘に投げたが間に合はず、吉田(一)生還、池垣遊飛(本校〇、一中一)
第六回(本校) 堤中飛、木野戸左飛、高橋遊飛(一中) 吉田(八) 三邪飛、宮川投飛後、岡本四球に出たが吉田(一)右飛(本校〇一中〇)
第七回 太田遊飛、松井二飛、西川左飛。
(一中) 元川左飛、岩内右前安打有つたが、棚橋中飛、安田遊飛。(本校〇、一中〇)
第八回(本校) 原三振、布施二壘失策に出たが中川三振、堤中飛。

(一中) 池垣二飛、吉田八遊飛、宮川四球、岡本遊飛宮川を封殺せんと遊撃二壘に悪投二者を生かし、吉田(一)元川ともに四球を興へ、宮川押し出し一點を得、岩内右翼に安打上岡本、吉田(一)生還。元川本壘をねらつ

で刺さる。(本校) ○、一中三)
第九回(本校)最後の攻撃に移り、木野戸中飛、高橋、太田ともに遊働に萬事休す。時に二時五分。吾等は又も一中の爲に終に惜敗したのである。

力も十分に發揮することが出來ず、惜敗したことは更に残念でした。諸君の御期待に負いたことをお詫び致します。

新チーム組織

我が部は五年の諸兄勇退の爲八月下旬此に原主將を中心として新チームを組織したのである。

て練習を開始した。
九月四日 隨試しに彦根商業と練習試合を行ふ。
その結果左の如し。

- (本校) 五〇〇〇一六〇一一二
- (彦商) 〇〇〇一〇五〇一七
- バッテリー、本校(安居、木野戸) 原(中川)
- 彦商、日比、吉田、藤本

又九月八日に八幡商業と練習試合を行ったその結果左の如し。

- (本校) 二五〇一一〇〇〇九
- (八商) 〇〇〇〇〇〇三二五
- バッテリー、本校、安居、木野戸、原
- 八商、山梶、林、石井

近畿野球大會滋賀豫選の記

我々新チームは八月二十日より練習をかきねた。そうして終にその腕を試めす時は來た九月十一日近畿野球大會滋賀豫選の幕は切つて落された。我々は第一回戦に大津商業と戦

(一中)

| | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 田川 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| (6) 吉元 | (8) 岩柳 | (7) 安池 | (9) 池吉 | (4) 宮岡 | (3) 田内 | (8) 橋垣 | (八) 田川 | (六) 木本 | (1) 吉元 | (2) 岩柳 | (3) 安池 | (4) 池吉 |

鳴呼、悲憤の涙に咽び乍ら敗戦の恥辱に泣きたかつた。僕等はせめて京津の覇者ならずとも平安か京師と當つて敗れたかつた。一中ぐらいに敗れるとは實になさげなかつた。實

我が部は八月二十日より新チームを編制し

ふ事になつた。

大商夏の仇を討つか！我が軍歸り討にするか！午前九時三十七分我が軍先攻のもとに戦は開かれた。

第一回(本校)西川中飛、中辻二飛、木之戸四球で出たが原遊飛。

(大商)勝見三働、鹿野左前安打二壘盗壘瀧川中飛後藤藤田レフトオーバーの三壘打をはなち鹿野生還、森本左飛にやむ。

第二回(本校)高橋三振、太田投飛、上杉の二飛は内野安打となる。安井投働一壘の失策に生き、上杉二進すれども小川三振。

(大商)安澤三働、遠藤三働、高坂左飛。

第三回(本校)西川左前安打直ちに二盗、中川三振、木之戸中飛、原四球、高橋四球で原二進、西川三進したが太田二飛。

(大商)佐々木左前安打、勝見左飛、鹿野遊ゴロに佐々木封殺、瀧川の三壘打に鹿野遊

死球に出たが西川左飛。

(大商)安澤左前安打、遠藤も又左前安打し安澤二進、高坂投働で安澤封殺遠藤二進。佐々木の三働で遠藤封殺高坂二進すれど勝見二飛。

第五回(本校)中辻三振、木之戸遊飛、原三働。

(大商)鹿野遊働、瀧川三働、藤田遊働、第六回(本校)高橋三振、太田投飛、上杉三働。

(大商)森本左前安打、安澤の三働に森本封殺、遠藤三直に安澤壘をはなれて刺さる。

第七回(本校)安居中前打、中川の左前安打で安居二進、西川中飛、中辻左前安打で中川安居進壘、木之戸の三働は三壘手ホームへなげたが及ばず、安居生還。原三働に中川封殺。中辻三進したが高橋三振、終に一點を上

(大商)高坂中飛、佐々木右前安打、勝見三働に佐々木封殺。鹿野の三働は一壘手の

ラーで生き、勝見二進直に盗壘、瀧川打者の時、鹿野二盗成功。次の球を投手二壘へ牽制二壘手その球を三壘へ送球。その間に勝見ホームへ殺到せしめ、三壘手よりの送球で寸前に刺さる。

第八回(本校)太田二働、上杉三振、安居三働。

(大商)瀧川右中間に三壘打し藤田の遊撃横をぬくゴロに瀧川生還、森本中飛、安澤三働に藤田封殺。遠藤左前安打し安澤二進壘をはなれすきて刺さる。

第九回(本校)中川四球、西川四球に中川二進、中辻左前安打し中川西川ともに進壘、木之戸三振、原四球で中川生還。西川中辻とも進壘、高橋打者の時投手二壘牽制の間にホームスチールを企て見事成功。高橋三振、太田遊働に中辻封殺されて萬事休す。時に十一時三十分なり。

- 本校 〇〇〇〇〇〇一〇二二三
- 大商 二〇二〇〇〇一〇一五

(本校) 川 辻 戸 橋 田 杉 居 川 川
(8) 西 中 木 原 高 太 上 安 (小 中
(5) 中 木 原 高 太 上 安 (小 中
(9) 木 原 高 太 上 安 (小 中
(2) 原 高 太 上 安 (小 中
(7) 高 太 上 安 (小 中
(6) 太 上 安 (小 中
(4) 上 安 (小 中
(1) 安 (小 中
(3) 中

(大商) 34打 敵24
見野川 12安打 6
勝鹿瀧 0 輪打 0
(2) 藤森安達 0 三振 11
(8) 藤森安達 0 四死 8
(1) 藤森安達 0 三振 3
(3) 藤森安達 0 四死 2
(7) 藤森安達 0 三振 1
(9) 藤森安達 0 四死 1
(5) 藤森安達 0 三振 1
(4) 藤森安達 0 四死 1

三壘打、瀧川二本、藤田一本

新チームの諸君、よくこの敗因を考へ、そ
うして此の後この事を胸に刻んで練習をせよ
九月十七日、彦根工業と練習試合を行った
その結果左の如し

本校 三〇八五〇一A 一七十七A

工業 〇〇〇〇〇一 一 二

バッテリー(本校) 安居——原、太田

(工業) 上田——

高商主催縣下大會出場の記

第一回戦は彦根商業とである。戦の結果左の

如し。球場は高商。彦商先攻。

第一回(彦商) 中島投飛、川崎四球に二盗
して刺さる。藤本三振。

(本校) 西川投飛、小川中飛、原四球で出
て直に二盗、中川三振。

第二回(彦商) 日比遊旬、吉田三飛失に生
き、田中中飛、本川左飛。

(本校) 木之戸四球パスボールに二進、太
田二壘横の安打に木之戸生還、安居三振、高
橋打者の時太田二盗して刺さる。高橋三振。

第三回(彦商) 北村右飛、仲谷遊旬、中島
中堅横に三壘打したが川崎三壘。

(本校) 中辻右前安打し、西川の右飛失に
生き小川打者の時、中辻壘を離れずして刺さ
れ、小川投飛、西川二盗成功。原の二壘横を
抜く安打に西川生還。中川三振。

第四回(彦商) 藤本三振、日比中飛、吉田
三振。

(本校) 木之戸三振、太田二飛、安居中堅
横に二壘打したが高橋三振。

二飛、田中四球に出たが本川左飛

(本校) 中川投飛、木之戸三前バンドに生
き、太田の遊旬に木之戸封殺。太田二盗し更
に三盗し、三壘手の逸球する間に生還。安居
三振。

第八回(彦商) 北村投飛、仲谷三振。中島
四球、川崎四球、藤本の三壘に中島封殺。

(本校) 高橋三飛、中辻左前安打し西川二
壘右を抜く安打に續き小川四球に出て一アウ
ト満塁となったが、雨が非常に猛烈となつた
のでコールドゲームとなつた。

(本校) 川 川 川 戸 田 居 橋 辻
(8) 西 小 原 中 木 之 太 安 高 中
(4) 小 原 中 木 之 太 安 高 中
(2) 原 中 木 之 太 安 高 中
(9) 木 之 太 安 高 中
(6) 太 安 高 中
(1) 太 安 高 中
(5) 太 安 高 中

(彦商) 28打 敵20
島崎 9 得点 6
中川 6 安打 8
(4) 藤本 5 三振 8
(2) 日吉 6 四死 8
(8) 吉田 4 盗塁 5
(9) 田本 0 犠打 1
(6) 本北 2 失策 3
(5) 北仲 2 二打 1
(3) 仲谷 2 三打 0
1 本打 0

陣營 シングルス

庭球部々報

崩え出づる若草の力と共に花に先がけて花
よりも麗しく輝かしき希望に燃えて、膚を刺
す風が冷い内に、軟らかな感觸をあたへる頃
奮然とコートに立つた。三月にはダブルスの
田村堤組、シングルス雄堤氏を送り大打撃
を被り加ふるに四學年の選手無かつたが此處
に陣營を立て直して静かな初春の空気を破り
ながら合宿して神戸商大の木塚氏のコーチの
下に練習を開始した。

本校 〇一〇〇三二〇〇六

彦商 〇〇〇〇〇三〇六〇二九

二打 安居、藤本二本
三打 中島、日比
本壘打 日比

(富士原記)

第五回(彦商) 田中遊旬、本川左飛、北村
遊旬。

(本校) 中辻三壘、西川中飛、小川四球で
出たが原三飛。

第六回(彦商) 仲谷三壘、三壘手壘投に二
進、中島左飛、川崎二壘に仲谷三進、藤本の
三壘右を抜く二壘打に仲谷生還。日比の中堅
越本壘打に藤本生還。吉田遊旬。

(本校) 中川三振、木之戸四球、太田四球
パスボールに木之戸、太田共に進塁、安居の
右前安打に木之戸、太田續いて生還。安居直
に二盗、高橋三振、中辻死球、西川四球に安
居、中辻進塁。小川四球に安居生還。原三振

第七回(彦商) 田中一壘、本川三壘手の失
策に生き二進す。北村左前安打に本川三進、
仲谷四球、北村三進、中島死球に本川生還。

北村三進、川崎の二壘頭上を抜く安打に北村
生還仲谷三進、投手の隙にホームイン。藤本
の左翼右を抜く二壘打に中島、川崎共に生還
日比の中堅左を抜く三壘打に藤本生還。吉田

| | | | | | | | |
|------|----|-----|----|------|----|-----|----|
| No1 | 北澤 | No1 | 保坂 | No2 | 保坂 | No1 | 北澤 |
| No3 | 小島 | No3 | 中山 | No3 | 中山 | No3 | 中山 |
| No4 | 田中 | No4 | 田中 | No4 | 田中 | No4 | 田中 |
| ダブルス | | | | ダブルス | | | |
| No1 | 北澤 | No2 | 田中 | No1 | 北澤 | No2 | 田中 |
| No3 | 田中 | No3 | 田中 | No3 | 田中 | No3 | 田中 |

彦根高等商業學校主催近府縣 中等學校庭球大會出場の記

五月二十九日(晴)
使用球 セントゼイムス
試合 一セット・マツチロングゲーム
京都一商(小林) 6 — 2 本校(北澤)
昨年名古屋高商コートにて行はれた全國大
會に我が先輩堤氏が涙を呑んで退いた京都一
商の廣部組と必死の戦ひをしたが第一學期試
験中のことゝて體力の減少練習の不足により

十分な技量を發揮出来なかつたのは遺憾であつた。敗れたりとも雖も保坂の鮮かなドライブをよく利用したストロークは敵を啞然たらしむ。此の日北澤もサーブは良く敵に肉迫せし相手のネットブレイの爲めに遂に六對二の大敗となり退場。

大阪毎日新聞社主催全國中等學校庭球大會出場の記

時正に盛夏のこと驕陽炎を縦にし土石火に化し人をして慄中にあるの思ひあらしむる頃、愛校の血に燃えて花を飾らんと白球に全力をこめて練習をなしぬ。

時は来ぬ！ 七月二十四日！

行進曲は勇しく響き渡つた大毎主催の全國中等學校庭球大會が其の第二十五回の幕を切つて落さうとする瞬間である。色あせて布地は裂けてゐるが歴史的に光り輝くダブルスの優勝旗は金糸まばゆく光るシングルのそれと共にコートに現はれた。出場三百二十の若

人が足なみ軽く蕭々として、然も必勝の氣は自ら眉宇に場内の中央に止ると樂はハタと止んだ。將來のテニス選手も必ずやこの若き時代の人々より生れるとの激勵あり勇躍退場した時正に二十五日午前八時半。澄み切つた天地は今漸く戦塵をはらまんとする。ダブルス一回戦はかくて此の榮ある大會の序幕戦として六コート一齊に火蓋を切つた。

ダブルス一回戦 第四コート

京二中 6—1 本校

シングル一回戦 第三コート

姫路師 6—2 本校

お互にグラウンドストロークをキープしたがサーブで破られネットポジションを占める事が出来ず遂に京洛の雄二中に名を爲さしめた。

シングルスは保坂フオアハンドストロークでサイド深くつきしもコントロールのよいグオレの爲めポイントを失ひ遂に敗る。ダブルス(北澤・保坂)

本校 3 4 4 1 3 5 2
京二中 5 6 2 4 5 7 4
シングルス(保坂)

姫路師 5 2 5 4 6 2 4 5
本校 3 4 3 1 4 4 1 3
23 33

福井高工主催近府縣中等學校庭球大會出場の記

使用球 マルビシ硬球

試合 一セットマッチロンゲゲーム

ダブルス一回戦

6—4 本校(小山)

試合は小山のサーブから開始され戦は一進一退2—2の後小山のサーブにて3—2とリードしたが第六ゲームでマッチポイントに接しながら二ポイントをロスして3—3となる。之より少しチームワークが取れザレフト・サイドのブレイヤーのウイーク・ポイントを突かれ5—3とリードされた。第九ゲームでは確實にポイントを取りて5—4

としたが第十ゲームでサーブを良くキープせしローブせめとなりマッチ・ポイントを失ひジュース數回の後遂に敗る

本校 2 4 5 5 4 3 2 1 4 5
4 1 3 7 2 5 4 4 2 7
40 35

シングルス一回戦

本校(保坂) 6—2 大聖寺中學

試合は保坂のサーブに始まる。第一ゲームよりジュースを數回して互にグラウンド・ストロークにうまみを見せシー・ソー・ゲームで進み3—2と保坂リードす。第六ゲームより保坂はドライブを良く利用したフオア・ハンドの剛球をコーナーからコーナーに存分に突いてフライン・ブレイの下に堂々たる貫祿を見せた。

本校 7 7 6 3 6 4 5 4
大聖寺中 5 9 4 5 4 1 3 0
30 42

シングルス一回戦

本校(北澤) 6—3 七尾商業

にサーブをキープしたが第五ゲームで敵のサーブを破り3—2とリードす。第六ゲームでマッチ・ポイントを失ひ遂に3—3となる。第七ゲームよりローブで相手のウイーク・ポイントを突き6—3で一勝す。

本校 1 4 3 6 4 3 4 5 4
七尾商業 4 2 5 4 2 5 2 3 1
28 34

シングルス一回戦

京一商 6—3 本校(保坂)

双方とも元氣一ぱい長く戦ひしも總じてネット・ポジションを占むることに於て敵に一日の長があつた。

本校 2 3 4 1 5 2 4 2 3
京一商 4 5 2 4 3 4 1 4 5
32 26

石川師 6—4 本校(北澤)

スタート悪く簡単に三ゲームをうばはれた第四ゲームで始めてフオア・ハンドを活用して第五ゲームでサーブを破つて3—2となつた。技量は差が無いが体力の劣る所有りて好防も及ばず敗る。

滋賀縣下中等學校庭球大會出場の記

使用球 マルビシ硬球

試合 一セットマッチロンゲゲーム

ダブルス一回戦

比中 6—2 本校(小山、田中)

ダブルス一回戦

本校 7—5 滋賀師範

本校 4 3 1 4 7 4 4 2 3 4 6
滋師 2 5 4 2 5 6 2 0 4 5 1 4
40 46

ダブルス三回戦

栗田農學校 6—4 本校

本校 1 4 3 2 4 4 2 4 4 4
栗農 4 2 5 4 1 6 4 1 1 6
34 32

滋賀師範を破つた我はいよ／＼準備勝戦にのぞんだ。グラウンド・ストロークに敵を苦し

めたが敵もゴオレーにうまみを見せた。コーナーに深く突込みしもマツチ・ポイントでラストして右の戦蹟で敗れてしまった。遺憾の極み!

シングルス第一回戦

八幡商業 6—2 本校 (北澤)

本校 2 1 5 2 7 2 4 2
八商 4 4 3 4 5 4 6 4 4

シングルス第二回戦

本校 (保坂) 6—4 滋賀師範學校

本校 4 4 4 5 2 5 4 1 4
滋師 1 6 2 3 4 3 2 4 1

互に元氣一ぱい良くボールをアドプトしてコーナーからコーナーへ送つて有利となり右の戦蹟で勝つ。

シングルス準優勝戦

比中 6—3 本校

本校 4 1 3 4 4 2 3 4 2
比中 2 4 5 6 1 4 5 1 4

ドライブの良く利用されたポイントは、敵の

心膽を寒からしめたが、ネットポジションをうばはれ遂に勝を失ふ。

かくて我等の試合に永遠の幕が下された。過去を顧みれば唯血涙の歴史ばかり希望にもえた若草と共に、希望に燃えて練習に日の短いのを嘆じたのであったが、終に今年も爲す可らずして暮れてしまった。僕達は過去の恨を繼いで奮闘したが後根を一つ増したに過ぎなかつた。誠に相済まぬ事だ。さらば残りの庭球部員よ、君達は過去の庭球部の雪辱をなせ。再び恨の一點を將來に加ふる勿れよ。

競技部々報

我が部は昭和七年四月幾多の諸兄を失ひ、之により大打撃を被り、又もや竹内君の退部を傳へられるに至り、新陣營組立の上に大いに憂慮に堪へられなかつた。然し新進選手数名を加へ、メンバーを整へて今年こそは我が

奮はざる競技部をして黄金時代を現出せしめて競技界に名を揚げんものと勵んだのであつた。

本年度の新陣營を掲ぐれば

- 百 米 三橋 文男 那須原邦男
- 北川宗四郎 岡島 正延
- 二百 米 三橋 文男 那須原邦男
- 北川宗四郎 岡島 正延
- 四百 米 室谷 隆一 朽木 徳房
- 那須原邦男 柴田 禮二
- 八百 米 大橋 義造 元持 善衛
- 朽木 徳房 北川 恒雄
- 千五百 米 大橋 義造 元持 善衛
- 安部 信之 北川 恒雄
- 一 萬 米 安部 信之 北川 恒雄
- 元持 善衛
- 二百米ローハドル 三橋 文男
- 室谷 隆一 田中宗男紀

八百米リレー 三橋 文男 那須原邦男
室谷 隆一 馬場 隆
岡島 正延 北川宗四郎

走高跳 柴田 禮二 上池 芳三

中溝孝太郎

走巾跳 藤本 富雄 田中宗男紀

中溝孝太郎

三段跳 室谷 隆一 三橋 文男

田中宗男紀

槍 投 藤本 富雄 室谷 隆一

岡島 正延

圓盤投 石田 秀宏 上池 芳三

室谷 隆一

砲丸投 藤本 富雄 上池 芳三

石田 秀宏

棒高跳 藤本 富雄

以上の新陣營を以て我等は練習にいそしんだ。伊吹の靈峰には未だ白雪を頂き、金龜蔵の尙膚にその寒さを感じる候より、少數なる

部員と雖も母校を思ふ若人の願ひは何時かは認められるものと我等は和氣霽々の中に練習に練習を積み、苦闘に苦闘を重ねたのであつた。

之に依り、我等の實力正に向上し來りしを自覺せし爲、例年開かる高商對三校(本校・彦商・彦工)聯合對抗試合を申込みしが、高商に開き入れられず、我等は之に代ふべく彦商・八中・八商等に申込み試合を行ふ筈であつたが之も天候の爲取止めるのやむなきに至り、我等は實力を知ることなくして湖東陸上競技大會に出場したのであつた。

湖東中等學校陸上競技大會

出場の記

五月廿二日!! 時は來た。我等の實力を表わす時は來たのだ。過去數ヶ年の間湖東に覇者たらんとして努力せしも酬ひられず、幾多の惜敗を以て退くのやむなきに立至つたのであつた。然し今年こそは榮冠を得て湖東に覇

者となりて、諸先輩をなぐさめんものと元氣百倍、當番校神崎商業校庭に到着した。

前日來の雨は未だ止まず、小雨さえも降る様子であつた。然し午後は我等の誠意が神に通じたものか、黒雲全く開け晴天と化した。従つて午前中惡コンディションに若き選手はなやまさされた。

午前九時より入場式あり、参加校五校式後直ちに競技開始。左に當日の我等の決勝記を示す。

トラック

豫選 (各種入選二着)

百 米 A組 北川宗四郎

スタート悪く、努力に努力を以て應戦したが及ばず、僅かの差で三着、落選す。

参考記録 一三秒一

B組 那須原邦男

スタートより好調に出で、得意のスト

ライドで進み第一位との差胸一つにてゴールに入る。記録一二秒六

C組 三橋 文男

スタートよく始めれば第一位と同等なりしが七十米邊で足をすべらし、必死に之を追ひ第二着で入選。

参考記録は一二秒八

二百米 A組 那須原邦男

第一着で入選。記録 二八秒四

B組 三橋 文男

スタート悪く、ラスト五十米を頑張り

一位と胸一つで二着となり入選。参考記録 二七秒六

C組 北川宗四郎

百米邊まで二三位で入選するかと思はれたがコーナで倒れ、惜しくも敗る。

四百米 A組 室谷 隆一

記録 一分六秒五

B組 那須原邦男

記録 一分八秒二

C組 朽木 徳房

記録 一分七秒九

三名とも安々第一着で入選し、人目を驚かす。

決勝(得点六、五、四、三、二、一)

百米 得点 五點

那須原頑張りも第三着にやむ。記録一

二秒一、三橋第五着なりしが審判うつか

りして第六着にす。抗議を申し込めども

入れられず、一點を得て退く。一二秒四

二百米 得点 四點

三橋努力せしが第四着。記録二七秒四

那須原四百米決勝の直後なる爲、疲労

恢復せず六着で終る。

四百米 得点 十三點

那須原、室谷よく頑張り、接戦の上那

須原一着、記録は一分三秒八 朽木最後

まで戦ひ、第五位を保つ。

八百米 大橋義造、北川恒雄 得点五點

豫選なしに直ちに決勝に入る。大橋常

にトップを走り、奇麗なストライドで進

む。然し八中の川勝彼の後について離れ

ず、後半の四百米で遅れ、二着で入選す

北川一萬米の直後の爲、奮闘するも及ば

ず、案外に落つ。

千五百米 得点 十五點

大橋義造・元持善衛・北川恒雄三名よく

そろつて走り、四五位を五十米以上も引

離して三名同時にゴールに入り、觀衆を

して驚かす。我が向上し行く競技部の意

氣物すごし。赤鬼魂が遺憾なく發揮され

た。記録 五分二三秒二

一萬米 得点 八點

北川恒雄、元持善衛、安部信之出場す

北川日頃の努力報いられて第二位を遠く

引離して悠々第一着。記録 四三分五七

秒五。元持奮戦して第五位となる。安部

腹痛なりしが最後まで頑張り惜しくも第

七着で等外に落つ。

千六百米 リレー 得点 六點

那須原、大橋、朽木、室谷のオーデー

で出場。那須原疲労して未だ恢復せざり

走巾跳 五米二五

三段跳 一米五一

砲丸投 一米七五

槍投 三七米一三

圓盤投 二七米五七

我等は努力した。我等の力と意氣と之に加

ふるに赤鬼魂を以て最後まで戦つた。しかし

運命の神は榮冠を我等に與へてくれなかつた

しかし我等の努力は報ひられた。

八中七十點を取り湖東の覇者となる。本校

六十五點を取り第二位を保つ。もう少しだつ

た。僅か五點の差だつた。トラックに於て六

十點をとり第一位となるもフィールド全く奮は

ず、五點といふ惜敗だつた。トラックだけで

も優勝し得ないことはなかつた。しかしそれ

にはあまりに部員が少なかつた。數回の出場

に疲労恢復せず得點し得る種目も見す／＼見

逃さなくてはならなかつた。

しかし過ぎ去つた過去は追ふなけれ。有望

な前途に進め。而して來年度に於て、必ずこ

しがよく頑張つて大橋に繼ぐ。大橋走る

走る見る／＼中に一位八中を引離す。朽

木、室谷よく第一位を保つ。これの記録

四分二四秒六

八百米 リレー 得点 四點

メンバー那須原、北川宗、室谷、三橋

八百米リレーこそは第一位をよ努力した

が皆疲労の爲惜しくも三着にて終る。

参考記録 一分五三秒四

フィールド

走高跳決勝 上池 芳三 中溝孝太郎

奮闘するも及ばず、敗る。

走巾跳決勝 田中宗勇紀 藤本 富雄

奮闘するも及ばず、敗る。

練習不足の爲、奮闘せしも効なく敗る。

三段跳決勝 室谷 隆一 三橋 文男

田中宗勇紀

室谷田中足合はず涙を飲んで退く。三

橋頑張りも初陣の爲勝手分らず敗る。

砲丸投決勝 藤本 富雄 上池 芳三

(本校の作りし記録は◎印を附す)

百米 一一秒八

二百米 二六秒フラット

◎四百米 一分三秒八

◎四百米 二分二秒四

◎千五百米 五分二三秒三

◎一萬米 四三分五七秒五

◎千六百米リレー 四分二四秒六

八百米リレー 一分五一秒二

走高跳 一米六五A

の恥辱を雪げ、そして榮冠を確保せよと去り行く者は叫ぶのである。

夏季練習の記

我等は湖東大會後、大なるショックを得て協力一致練習に勵んだのであつた。短縮授業の炎熱焼くが如き中を物ともせず、努力した夏季休暇前部員協議の結果、夏季休暇に練習を行ふ事になり、廿三日より一週間、炎熱と戦ひ、朝の冷しい間九時半より十一時半まで縣下大會を目ざして奮發したのであつた。幸ひ多数部員諸君も出席し四名の皆勤者を出すに及んだ。又この壯舉を耳にして諸先輩のコーチを受け、實力養成に努めた。かくて休暇を意義ある練習に依つて終りをとげた。この練習に出席し御指導下された部長先生始め諸先生、並びに諸先輩に對し滿腔の謝意を表するものであります。

第三回本校對産商

對抗試合の記

三等 堀 (商) 三六米七五
得點 本校零 商業六點
走高跳 一等 近藤村(商) 一米五五A
三等 福原(商) 一米五〇
得點 本校零 商業六點
走巾跳 一等 近藤(商) 五米七九
二等 外村(商)
三等 夏川(商)

得點 本校零 商業六點
三段跳 一等 近藤(商) 一米七五五
二等 室谷(中) 一米六七
三等 外村(商) 一米
得點 本校二點 商業四點
フィールド小計 本校六點 商業三〇點
合計 本校三二點 商業三七點

我等は努力した、彦商を又も敗北に歸せしめやうとあせつた。しかしフィールドの情敗は我等の希望を夢に流してしまつた。我等の敗北には常にフィールドの不振に因をなした之は何を物語つてゐるか? 練習不足、部員不足

九月十七日! 昨年の對抗試合に習ひ、彦根商業を招いて試合を行ふ。本日實に快晴にして絶好のスポーツ日和であつた。左に當日の戦跡を記す。

トラックの部
百 米 一着 那須原(中) 一二秒一
二着 夏川(商)
三着 三橋(中)
得點 本校四點 商業二點
二百米 一着 那須原(中) 二五秒八
二着 夏川(商)
三着 三橋(中)
得點 本校四點 商業二點
四百米 一着 那須原(中) 六〇秒
二着 室谷(中)
三着 朽木(中)
得點 本校六點 商業零
八百米 一着 元持(中) 二分元秒五
二着 朽木(中)
三着 宇治原(商)

の原因ではなからうか。我等之により又も大なる教訓を得たのであつた。そして縣下大會に備へたのだつた。

八高主催全國中等學校

陸上競技大會出場の記

九月廿五日!! 我等は校友諸兄の熱誠なる御後援を受け、八高主催の全國中等學校陸上競技大會に出場した。そして全國より集り來る幾多の強敵を向ふに廻し金龜城下の赤鬼魂を以て天下に名を知られたる我等は、正々堂々と戦つたのであつた。當日快晴にして絶好のコンジョーションであつた。午前八時半入場式、京師の池永君の宣誓により競技は始められた。左に戦跡を記す。

百 米 第一豫選G組 那須原邦雄
スタート數回やりなほしに氣力少しく減ずしかし頑張り應戦す。スタート悪しく努力せしが第二着との差僅かにて落選す。参考記録 一二秒五

得點 本校五點 商業一點
千五百米 一着 元持(中) 五分八秒五
二着 小菅(商)
三着 大橋(中)

八百米リレー 一着 彦中チーム 三點
那須原 室谷 馬場 三橋
一分四七秒
二着 彦商チーム 零
トラック小計 本校二六點 商業七點
フィールドの部
砲丸投 一等 小財(商) 一二米〇六
二等 藤本(中) 一〇米六五
三等 樋口(商) 一〇米七一
得點 本校二點 商業四點
圓盤投 一等 小財(商) 二九米七五
二等 石田(中) 二四米五〇
三等 吉田(商) 二三米七五
得點 本校二點 商業四點
槍 投 一等 吉田(商) 三九米三〇
二等 樋口(商) 三七米一〇

四百米 第一豫選C組 室谷 隆一
皆スタートよりピッチを上げ、さながら二百米を走るとかと思はしめた。努力して應戦入選するかと思はれたがラストきかず、胸一つの差にて第三着落選す。記録五九秒二
千五百米 第一豫選C組 元持 善衛
始めより好調に出で、第三位を保つ。されど漸次遅れ二位との差五十米。ラスト二百米頃よりピッチを上げ之を追つたがその差余りに多くゴールで僅か一米の差で落選。参考記録は五分二秒二

八百米繼走 第一豫選C組
オーダーは室谷、三橋、馬場、那須原。
始めより安々と戦ひ、第一位との差胸一つにて入選第一着は津中學。本校参考記録一分四十五秒九
第二豫選B組
第二豫選に入りたるに皆元氣を得て、氣輕に走り、第三位を遙かに離し、第二着にて入選決勝戦に出場を許さる。第一位は愛知縣の

雄愛知一師で記録一分四十秒四

決勝戦

我等は決勝戦に臨むを得た。皆喜んだ。今までのトラックの零敗をこの最後の戦いで僅かにもなぐさめようと、一生懸命に戦った。しかし我等の努力は報ひられなかつた。第六位を得て退くのがやむなきに立至つた。許せよ!! 六百の健児よ!! 第一位は東海杏全中等学校の雄、岡崎師範、記録は一分三七秒。本校参考記録一分四六秒

滋賀縣体育協會主催第十回 縣下中等學校陸上競技大會 出場の記

十月二日!! 我等が四月以来目標にして努力し、且楽しんでゐた縣下大會が訪れたのだ。我等の血は躍つた。向上し行く我が競技部が

如何に敵を壓し得るか? 大なる興味の下に我等は寺本、小野、居井等の諸先生引率の許りに會場八日市中學グラウンドに臨んだ。

當日は絶好のコンディションに恵まれて八時間會、國旗掲揚後直ちに競技開始。幾度か血涙にぬれたこの怪腕俊脚を以て奮闘したにもかゝらず、今また惨敗地にまみれ、血涙顔に傳はる。許せ!! 六百の健児諸兄よ! こゝに合せて當日わざ／＼御出下されし校長先生始め諸先生並びに校友諸兄に對し満腔の謝意を表するものである。左に當日の戦績を示さん。

トラック(一部) 豫選
百 米 那須原、三橋預選りしも僅かの差で豫選に落つ。
二百 米 那須原預選り第二位で豫選パス三橋奮闘せしも胸一つの差にて第三着落選。
四百 米 室谷よくつきで應戦すれども始めより皆のピッチ物すごくラスト少しでぬかれ第三位となり落選す。記録五九秒五

朽木よく戦ひ第二着で入選す。

八百 米 大橋最後まで頑張り第一位となりて豫選パス。記録二分二四秒元持第三位で落選。
千五百 米 大橋、元持共に樂々豫選パス。
八百 米 リレ

第一着 本校 一分四四秒(本校新記録)
第二着 水中
(二部) 豫選
百 米 岡島一着で入選。一三秒二加藤頑張り入選す。
二百 米 岡島一着で樂々入選。二七秒五加藤惜しくも三着で落選。
八百 米 朝齋奮闘するも第三着で退く。
野村頑張り第一位をしめ入選。
八百 米 リレ 二分四一秒八
第一着 本校 一分五四秒四(當大會新記録)
第二着 長商
トラック(二部) 決勝

二百 米 那須原最後まで頑張り第五着となる。得點 二點
四百 米 朽木第一コースに倒れ勝機を逸す。

八百 米 大橋よく頑張り第六着を保つ。得點 一點
千五百 米 召集不明確な爲にレースに遅れ係員出場不能を宣す。我等は涙を飲んで退く

一 萬 米 北川、安部出場するも二人とも腹痛を起し、棄權す。
八百 米 リレ

- 第一着 膳中 一分四三秒二
- 第二着 八中
- 第三着 大商
- 第四着 本校
- 第五着 水中
- 第六着 彦商

得點 三點

(二部) 決勝
百 米 岡島僅かの差で第二位。加藤第

六位を保つ。得點 六點

二百 米 岡島奮闘するも第三位となる。記録二七秒六
八百 米 野村よく戦ひ第六位となる。得點 一點
八百 米 リレ

- 第一着 今中 一分五四秒三(大會新記録)
- 第二着 本校 一分五五秒(大會新記録)
- 第三着 八商
- 第四着 長商
- 第五着 水中
- 第六着 虎中

フィールド決勝(一部)
砲丸投 藤本よく奮闘し第六位となり入選す。記録一〇米五五
石田奮闘の効なく等外たり。
得點 一點
圓盤投 石田今度こそはと頑張り、よく

第四位を占む。記録二四米七〇
上池等外となる。得點 三點

槍 投 藤本孤軍奮闘するも及ばず等外となる。

走巾跳 田中頑張りも及ばず等外。
走高跳 上池、中溝等外となる。
三段跳 室谷、田中奮闘すれども兩名とも歩數合はず、落選す。
棒高跳 棄權。

(二部)
砲丸投 杉山獨り頑張りも第七位となり落選す。

走巾跳 藤井頑張り第六位となる。記録四米二五 得點 一點
走高跳 寺澤一米三五を跳びしも及ばず敗る。

一部優勝校 栗田農學
二部 今津中學

虎姫中學運動會リレ

十月三日! 寺本先生引率の下に我等は虎

中に到着した。

北風強し！

参加校は八中、本校の二校のみ。

一着 八日市中學 タイム 一分四七秒
二着 本 校

當日のメンバー左の如し。

- トップ 室谷 隆一
- 二番 馬場 隆
- 三番 三橋 文男
- ラスト 那須原邦男

長濱商業運動會

メドレーリレー参加の記

十月十七日！ 休日を利用して参加。

當日は滋師、虎中、八商、本校の四校を交へ、我等奮戦の效なく又も敗れた。これこそはと頑張つたが及ばなかつた。許せ！！ 六百の健兒よ！！

戦跡左の通り。
第一着 滋賀師範

第二着 虎姫中學

第三着 本 校

第四着 八幡商業

メンバー左の如し

- トップ 二百米 那須原邦男
- 二番 四百米 室谷 隆一
- 三番 八百米 大橋 義造
- ラスト 二百米 三橋 文男

彦根商業運動會参加の記

長商を終り直ちに彦商八百米リレーに参加

一着 膳所中學

二着 本 校

三着 彦根工業

メンバー

- トップ 那須原邦男
- 二番 大橋 義造
- 三番 朽木 徳房
- ラスト 三橋 文男

大津商業運動會参加の記

十月廿三日 日曜日！

試験前で練習不足であるにも拘らず、積年の恨を晴さんものと、大津商業運動場に到着した。

一着 膳所中學 記録 一分四五秒

二着 本 校 記録 一分四六秒五

メンバー左の如し

- トップ 室谷 隆一
- 二番 馬場 隆
- 三番 三橋 文男
- ラスト 那須原邦男

滋賀師範運動會参加の記

十月廿三日 我等は大商のリレー終るや直ちに滋師運動會に参加した。

此處に於ても又勝を膳所中學にゆずるとは何たることか。我等に實力なきか。許せ！！ 六百の健兒！！

戦績

一着 膳所中學 記録 一分四四秒四

二着 本 校 記録 一分四六秒

メンバー

- トップ 那須原邦男
- 二番 馬場 隆
- 三番 三橋 文男
- 四番 那須原邦男

第四回本校對彦商對抗試合の記

十二月三日 例年の如く新チーム、四年以下を以て對抗競技を行ふ。彦商グラウンドに於て。

トラックの部

- 百 米 一着 那須原(中) 一一秒八
- 二着 阿知波(商)
- 三着 丸 岡(中)
- 二百米 一着 那須原(中) 二五秒六
- 二着 阿知波(商)

フィールドの部

- 砲丸投 一位 藤 本(中) 一〇米〇一
- 二位 樋 口(商) 九米八九
- 三位 上 池(中) 九米〇五
- 四 盤 投 一位 石 田(中) 二四米八五
- 二位 中 島(商)

三着 馬場(中)

四百米 一着 朽 木(中) 一分二秒四

二着 藤 村(商)

三着 西 澤(中)

八百米 一着 北 川(中) 二分七秒五

二着 大 橋(中)

千五百米 一着 元 持(中) 五分七秒七

二着 小 菅(商)

三着 安 部(中)

八百米リレー 一着 彦中チーム

馬場、丸岡、西澤、那須原

二着 彦商チーム

中島、阿知波、樋口、藤村

三位 角 田(商)

槍 投 一位 樋 口(商) 三九米六一

二位 江 畑(商) 三一米四八

三位 藤 本(中) 三一米三八

走中跳 一位 藤 本(中) 五米二四

二位 西 澤(中) 五米一〇

三位 中 溝(中) 四米七五

上 池(中)

走高跳 一位 須那原(中) 二米四五A

中 溝(中)

三段跳 一位 樋 口(商) 一一米三三

二位 馬 場(中) 一一米〇四

三位 中 島(商) 一〇米九一

彦中四七點、彦商二二點 倍數を以て我等は勝を占めるに至つた。若き戰士のすく／＼と伸び行く一中競技部に幸あれ！！ かくして來年度をこの勢を以て立て！！

回 顧

四月以來の努力も終に黄金時代を建設し得

水泳部々報

なかつた。六百の校友諸兄よ! 許せ!! そして来るべき来年度を待たれよ。今年はもう一息の所で敗れてしまった。それは各大會通じて確かに認めたのであつた。黄金時代は作れなかつたが、その基礎は作れた。今その道程にあるのだ。「一切過去を追ふなかれ、そして希望に満てる前途に進め」と先輩は叫んでゐる。然り、進め!! 我等の前に何も恐れることはないのだ。

後輩に一言。過去の敗れを教訓に新しき未來に向つて進め。優勝の裏には必ず涙ぐましいまでの努力があるのだ。美しき花園に行くには山もあり谷もある。その努力を切りぬけてこそ始めて月桂冠を得るのだ。「不埒の決意を以て不撓の努力をせよ」と去り行くものは唯一言残して行く。

三月初旬藤本、林二氏を送り出した水泳部は聊か不安に襲はれたが、我々は今年こそ多年の望を達し、又先輩の意に添はんと、元氣一ぱい未だ白雪を戴く伊吹山を眺めながら四月中旬息つまる冷水の中を唯覇を目指し高商プールにて練習を初め、五月も過ぎ六月に入るや、部長先生を始め諸先生の熱ある御指導と選手一同の硬き心は終に猛練習と變りました。七月も終り八月に入つたが我々は之までの不成績を悲しみ、終に八月下旬あの思出深い合宿猛練習を行ひ、九月四日その目的を貫徹し、出場會數 五回、三度優勝を記録しました。

三月初旬藤本、林二氏を送り出した水泳部は聊か不安に襲はれたが、我々は今年こそ多年の望を達し、又先輩の意に添はんと、元氣一ぱい未だ白雪を戴く伊吹山を眺めながら四月中旬息つまる冷水の中を唯覇を目指し高商プールにて練習を初め、五月も過ぎ六月に入るや、部長先生を始め諸先生の熱ある御指導と選手一同の硬き心は終に猛練習と變りました。七月も終り八月に入つたが我々は之までの不成績を悲しみ、終に八月下旬あの思出深い合宿猛練習を行ひ、九月四日その目的を貫徹し、出場會數 五回、三度優勝を記録しました。

湖東大會出場の記

得點 一等 個人 四點 リレー 八點
二等 三點 五點

二百米リレー
一着 本校チーム 二分六秒六
二着 彦商チーム 二分十五秒四
三着 八商チーム 二分二十五秒九
目加田一米彦商にリードされ、井口の時二米となる。杉本力泳し四米彦商をリード、森増々大差とし十二米彦商に、八商を二五米抜く。
二百米平泳
一着 益田 彦商 三分二五秒二
二着 高木 彦商 三分三三秒〇
三着 西村 本校 三分三四秒四
四着 寺村 八商
初め高木百米まで他を三米リードす。百を過ぎて益田出で、西村も一時高木を抜いたがラストで又破る。
百米自由型

一着 森 本校 一分 十秒七
二着 村田 八商 一分二一秒〇
三着 宮川 本校 一分二一秒九
四着 八若 彦商
森斷然他を壓し、宮川、村田と接戦したが破る。
千五百米自由型

二百米自由型
一着 杉本 本校 二分四五秒二
二着 井上 八商 三分十四秒三
三着 中村 彦商 三分十七秒二
四着 岡庭 本校
杉本榮々と一着、岡庭及ばず四着で止む。
四百米自由型
一着 高田 彦商 六分三秒四
二着 目加田 本校 六分八秒四
三着 川村 八商 七分二秒七
四着 西川 彦商
目加田、高田と接戦したが及ばず五米の差八百米リレー
一着 本校チーム 十一分二五秒四
二着 目加田、井口、森、杉本
三着 彦商チーム 十二分十七秒八
四着 八商チーム 十三分二八秒六

本校 8 6 5 3 3 3 2 8 38
彦商 5 1 2 3 2 5 7 5 32
八商 3 3 3 2 5 2 1 3 22
日頃の望を達せられ、怨深いカップは再び彦商軍からうばつた。我々は湖東の覇者に留まらず縣下へと努力します。當日御聲援下さつた方に深く感謝致します。

縣下中等學校水泳大會 出場の記

一着 林 彦商 一分二十秒二
二着 井口 本校 一分二三秒一
三着 深尾 八商
四着 近藤 彦商
井口終始林に壓せられたが一分二三秒一は本校五十米プール新記録である。

豫選之部
二百リレー
一着 本校チーム 二分五秒二
二着 今津中チーム
三着 水口中チーム
仇敵今中をよく抜き昨年を怨を晴す。

二百リレー
一着 本校チーム 二分五秒二
二着 今津中チーム
三着 水口中チーム
仇敵今中をよく抜き昨年を怨を晴す。

百米背泳
一着 林 彦商 一分二十秒二
二着 井口 本校 一分二三秒一
三着 深尾 八商
四着 近藤 彦商
井口終始林に壓せられたが一分二三秒一は本校五十米プール新記録である。

得點表
リ 自 自 自 百 背 平 リ
百 百 百 五 百 百
二百二 四千百二八 合 計

A組 一着 林 彦商 一分二八秒三
二着 杉本 本校 一分三一秒二
B組 一着 井口 本校 一分二五秒五

百米自由型

B組 一着 森 本校 一分十二秒〇
四百米自由型

A組 一着 田中 栗田農 五分三四秒八
二着 墨友 今津中
三着 目加田 本校 六分五秒〇
「ベストサード入選」

二百米平泳
C組 一着 井上 膳所中 三分十二秒四
二着 杉橋 今津中
三着 西村 本校 「落選」

千五百自由型 タイムレース
大谷力泳及ばず十着で終る。

決勝之部
二百米リレー

一着 大津商 二分五秒〇
二着 本校 二分五秒九
三着 今津中 二分六秒九
四着 膳所中
五着 栗太農

六着 水口中

百米背泳
一着 林 彦根商 一分二十秒〇
二着 井口 本校 一分二二秒六
三着 山本 栗田農
四着 杉本 本校
五着 望月 水口中
六着 中村 今津中

百米自由
一着 西村 大津商 一分八秒四
二着 森 本校 一分九秒四
三着 竹谷 膳所中 一分九秒八
四着 上原 今津中
五着 松田 水口中
六着 堀川 今津中

四百米自由型
一着 田中 栗田農 五分三七秒六
二着 墨友 今津中
三着 中井 栗田農
四着 高田 彦根商

五着 目加田 本校 六分三秒五

六着 柴田 栗田農
八百米リレー
一着 栗田農 十分三五秒八
二着 今津中
三着 大津商
四着 本校 十一分二九秒四
五着 膳所中
六着 彦根商

得點 六、五、四、三、二、一、
「リレー個人共」
農中商校商中商
栗今大本彦膳水八

二百リレー 2 4 6 5 0 3 1 0
千五百自由 8 8 4 0 0 1 0 0
背泳 4 1 0 8 6 0 2 0
二百自由 6 2 9 0 0 4 0 0
百自由 0 4 6 5 0 4 2 0
四百自由 11 5 0 2 3 0 0 0
平泳 9 2 1 0 4 5 0 0

背泳 五十 井口 三六秒九 本校新記録
百 井口 一分十七秒七 本校新記録
二百 井口 二分五十秒一 本校新記録
四百 井口 六分四二秒 本校新記録
平泳 百 西村 一分三一秒六
二百 西村 三分二十秒七 本年新記録
四百 西村 七分四十秒 本年新記録
リレー 二百、目加田、井口、杉本、森 本校新記録
二分三秒三
八百 目加田、井口、杉本、森 十分五六秒六 本校五十米プール記録
我々一同はかくの如き大々的進歩を示して堂々たる陣を作り四高に於る大會を待った。

八百リレー 6 5 4 3 1 2 0 0
合計 46 31 30 23 14 19 5 0

大會終了後百米、森、背泳、井口、杉本三君京滋中等學校對抗水泳大會滋賀軍代表と定めらる。

京滋中等學校水泳大會

二百米リレー

森、滋賀の一番にして、強力泳し滋賀軍有利に導いたが後半で滋賀軍破る。

百米自由型

森 三着 滋賀軍の爲萬丈の氣を吐く。

百米背泳

井口 四着 よく奮戦力泳す

かくて我軍優勝七三點對六二點にて再び京都軍破る。

關西中等學校競泳大會記

豫選之部

百米 森 一着 一分十秒〇

背泳 井口 四着 足痛の爲前半一着後半二五米より棄權
杉本二着
平泳 西村 四着 落選
四百米 目加田 棄權
決勝之部
二百リレー

力泳したが及ばず三着 一點
百米 森力泳して三着 一點
背泳 杉本及ばずタツチ差で破れ四着
日頃の實力發揮出来ず二點で終る。

優勝校 栗農 十三點
我々は之の不覺を取り歸さんと來る大會の爲に合宿練習を行ふ。次にその主なタイムを示す。

自由型
百 森 一分八秒二
二百 森 二分三三秒三 本校新記録
四百 目加田 五分五三秒〇 本年新記録
八百 目加田 十二分四一秒 本年新記録

近縣中等學校競泳大會

主催 第四高等學校 於 松任プール
出場種目及選手名 コーチャー 宮川脩治

百来 自由型 森彌一郎
同 背泳 井口敏彦

二百米自由型 杉本典夫 森彌一郎
同 平泳 西村平次郎

四百米自由型 目加田三郎 杉本典夫
八百米自由型 大谷正夫 目加田三郎

二百米リレー 目加田三郎 井口敏彦
八百米リレー 杉本典夫 森彌一郎

六時起床快晴！我々は作戦に餘念なし。
終に鍛へた之の腕を振り本年の花となさんと一同決心して會場に入り込む。先ず一同ウオミングアップ。

豫選之部
我々は先ず二百リレーに斷然我校の威力を知らしめんとする作戦を取る。

二百米リレー

A組
一着 本校チーム 二分五秒六

二着 宮津中チーム

(本大會新記録)

C組
三着 馬場 八幡商

一着 杉本 本校 六分二秒三

二着 森松 宮津中
三着 若山 小松中

最初より目加田熱戦を初めたが終始竹中をおさえて一着之のタイムは本校五十米プールに於ける新記録である。杉本競泳者三人の爲流れ込んで一着。

A組

一着 井口 本校 一分二一秒二
(本大會新記録)

二着 森田 金一中
三着 和泉 小松中

井口初めから飛び出し流れ込んで大會新記録。

二百米自由型 三着まで

A組
一着 森 本校 二分三九秒一

三着 金澤二中チーム

我々の作戦的中す。目加田一ストローク勝ち一着。井口力泳も及ばず宮津、本校、金二中三校同着。杉本力泳一米餘リード一着。森増々大差となし五米リードしてゴールイン。八百米自由型 三着まで

A組
一着 目加田 本校 十二分十八秒五

二着 青山 金二中 十四分三七秒
三着 東 小松中

C組

一着 竹中 松任農 十二分二九秒八
(本大會新記録)

二着 早瀬 金一中 十三分五秒
三着 大谷 本校 十三分二四秒六

目加田最初よりグングン出て二着との差百五十米の大差を作る。之のタイムは彦根中學校水泳部新記録である。大谷よく前半ペースを守つた爲初め四着なれど四百米より三着。

B組
二着 樽井 金三中
三着 善積 金一中

一着 杉本 本校 二分四秒八
二着 濱見 宮津中
三着 酒井 小松中

森、杉本共に好敵手なく樂々とパスす。八百米リレー
棄権校多數により豫選なし。
見よ！我校の威力を。落選者は一人もなく大谷以外は皆一着にて豫選をパスす。

特に、八百米。二百米リレー。四百米。背泳には堂々たる大會新記録である。

決勝之部
正に午後一時二百米リレーは開かる。
我々は心に優勝の自信を覺えたが、聊か不安である。

二百米リレー
一着 本校チーム 二分四秒二
(本大會新記録)

二百米平泳 三着まで

A組
一着 西村 本校 三分二三秒六
二着 畝本 金二中
三着 飯田 宮津中
西村百米までは二米程であつたが後半力泳十二米二着と差あり。

B組
百米自由型 三着まで

一着 森 本校 一分十秒〇
二着 眞田 小松中 一分十二秒〇
三着 山本 金三中

B組

森前、後半共に堂々と一位を占め樂々と三米リードす。

四百米自由型 三着まで

B組
一着 目加田 本校 五分四六秒二
(本大會新記録)

二着 竹中 松任農 五分五七秒二
(本大會新記録)

二着 小松中チーム 二分七秒二
三着 金二中チーム 二分十秒二
四着 宮津中チーム
五着 金一中チーム

我々は高なる胸をおさへつムスタート臺についた。トップ目加田スタートよく頑張つたがスタートに於る差のまゝにて井口に次ぐ。約一尺リードす。井口力泳も及ばず刻々小松中、金二中につめられ同着にリードされ三着にあり。嗚呼如何せん。杉本之の有様を見てあせりコースに引かゝつたが三十米の所よりコースを放れたと見るや俄然力泳滑るが如く約一米リードして森に次ぐ。森日頃の力を發揮して見る見る四米リードしてゴールイン

八百米自由型
一着 目加田 本校 十二分十三秒八
(本大會新記録)

二着 竹中 松任農 十二分三三秒五
(本大會新記録)

三着 早瀬 金一中 十二分五二秒〇

四着 大谷 本校 十三分十九秒九
 五着 上木 金澤商
 六着 若山 小松中
 八百の闘將目加田最初の百米を早瀬に一着を取られたのみで二百より八百まで常に先頭にあり北陸の花形竹中以下を引放し堂々たる力泳振に場内驚きの目を見張る。大谷二年生の弱冠なれどよく初めペースを守つた爲五百にて上木を抜き四位。目加田のタイム十二分十三秒八は本校新記録である。

杉本漸次出て眞田に次いで三位にあり。百五十に於て森杉本より三米前にあり。杉本はターンの終りに眞田を抜き、杉本力泳してゴール前十五米にて森と頭をならべたが、森スパートして逃込みの形でゴール。ついで杉本もゴールイン。我軍全勝で見物人啞然とす百米背泳

二着 山本 金三中 一分九秒七
 三着 濱見 宮津中
 四着 荒木 金二中
 五着 酒井 小松中
 六着 眞田 小松中
 森、力泳したが五十米ターンの於て一尺他をリードし、後半瀧張り漸次他を放したが山本放れず森逃込みの形となつてゴールイン。四百米自由型

二百米自由型
 一着 森 本校 二分四十秒六
 二着 杉本 本校 二分四二秒二
 三着 眞田 小松中
 四着 樽井 金三中
 五着 濱見 宮津中
 六着 酒井 小松中
 我軍全勝である。森幾分眞田につられ五十米にて一米リードして一位杉本自重し過ぎて五位後森他を二米リードして百米にて一位。

一着 井口 本校 一分十九秒八
 二着 徳田 松任農 一分二八秒九
 三着 下野 宮津中 一分三十秒一
 四着 森田 金一中
 五着 押野 金二中
 六着 柿崎 金澤商
 井口スタート悪いが五米にて早や他を一尺二五米にて体一つ五十ターンの於ては約六米百米ゴール前にて實に十三米の大差にて獨泳の觀であつた。

一着 目加田 本校 五分五二秒三
 二着 竹中 松任農 六分七秒二
 三着 杉本 本校 六分十三秒四
 四着 森松 宮津中 六分十五秒
 五着 馬場 八幡商
 六着 若山 小松中
 目加田、最初よりグングンリードして戦を進め、次第に竹中以下を抜き安々とゴールイン、杉本及ばず竹中に破れ全勝成らず。杉本スランプ氣味で元氣なく、側の見物人

曰く「いつも彦根中學一着ですなア」と如何にも地本軍の不利の戦線に残念そうにあつた。我々顔見會せて苦笑。

五着 小松中チーム
 トップ目加田如何にせしか百米で三者同着なれど後半の力泳物凄く約十五米リードして次ぐ、井口背泳にて樂々とリードして二五米とする。次ぐ杉本又々二五米を四十米の差にして森に渡す。森は實に五七米二位のチームより放してゴールインす。之の時森一八ゴ

ルに向ふのに他のチーム六校は森と反對に泳いで居る時の愉快さを想像下さい。又二位とのタイムに約一分の差あるも大なる奮闘の跡です。左に得點表を示します。

二百米平泳
 一着 吉川 宮津中 三分十九秒八
 二着 西村 本校 三分二七秒六
 三着 畝本 金二中
 四着 飯田 宮津中
 五着 高間 金一中
 六着 西村 八幡商
 西村スタートよく吉川と同着五十ターンの時、ターンの後漸く後れ出し我々の聲援も空しく百米にて二米、百五十にて五米、ゴール前で七米力及ばず破れ我軍全種目優勝成らず。八百米リレー

二百米リレー
 一着 本校チーム 十一分九秒六
 二着 金一中チーム 十二分一秒八
 三着 宮津中チーム 十二分六秒二
 四着 松任農チーム

| 順位 | 合計 | 八百米リレー | 二百米平泳 | 四百米自由型 | 百米自由型 | 百米背泳 | 二百米自由型 | 八百米自由型 | 二百米リレー | 個人 | チーム |
|----|----|--------|-------|--------|-------|------|--------|--------|--------|----|------|
| 1 | 67 | 10 | 5 | 10 | 6 | 6 | 11 | 9 | 10 | 5 | 松任農 |
| 2 | 30 | 5 | 9 | 3 | 4 | 4 | 2 | 0 | 3 | 4 | 宮津中 |
| 3 | 18 | 3 | 0 | 5 | 0 | 5 | 0 | 5 | 7 | 10 | 小松中 |
| 4 | 18 | 1 | 0 | 1 | 3 | 0 | 5 | 1 | 6 | 7 | 小松中 |
| 5 | 17 | 7 | 2 | 0 | 0 | 3 | 0 | 4 | 1 | 10 | 金澤商 |
| 6 | 14 | 0 | 4 | 0 | 3 | 2 | 0 | 0 | 5 | 7 | 金澤商 |
| 7 | 8 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 3 | 0 | 0 | 5 | 石川工業 |
| 8 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 6 | 松任農 |